

文芸書



この気持ちもいつか忘れる
住野 よる/著
平凡な日々には飽き飽きとして生きる高校生の力や。16歳の誕生日を迎えた直後、深夜のバス停で爪と目しか見えない異世界の少女に出会う。2人は互いの世界の不思議なシンクロに気づき…。『週刊新潮』連載を単行本化。

- 風よあらしよ
- 今も未来も変わらない 婦人公論連載小説
- 三度目の恋
- 汚れた手をそこで拭かない
- 乳房のくいで
- あきない世傳金と銀 淵泉篇
- 潮首岬に郭公の鳴く
- 図書室のピーナッツ
- Another 2001
- イノセンス
- シグナル
- もっこすの城 熊本築城始末
- わたしが消える
- 家族のあしあと 続
- 隣はシリアルキラー
- 始まりの木
- 自転しながら公転する
- 象牛
- われもまた天に
- 日没
- この本を盗む者は
- デルタの羊
- 滅びの前のシャングリラ
- 銀鈴探偵社 静おばあちゃんと要介護探偵
- 孔丘
- 谷根千ミステリ散歩
- くちばみ
- サラと魔女とハーブの庭
- 戀童夢幻
- 夜明けのすべて
- だまされ屋さん
- 善医の罪

- 村山由佳
- 長嶋 有
- 川上弘美
- 芦沢 央
- 深沢 潮
- 高田 郁
- 平石貴樹
- 竹内 真
- 綾辻行人
- 小林由香
- 山田宗樹
- 伊東 潤
- 佐野広実
- 椎名 誠
- 中山七里
- 夏川草介
- 山本文緒
- 石井遊佳
- 古井由吉
- 桐野夏生
- 深緑野分
- 塩田武士
- 風良ゆう
- 中山七里
- 宮城谷昌光
- 東川篤哉
- 花村萬月
- 七月隆文
- 木下昌輝
- 瀬尾まいこ
- 星野智幸
- 久坂部羊

※紹介しきれていない本、雑誌、漫画も多数ありますので、お時間のある時ぜひ図書館へお越しください。

一般書・児童書



「織細」さんの知恵袋
武田 友紀 著



チーズのひと皿
立東舎 出版



ねこねこ日本史
そにし けんじ 著



音読 JAPAN
浦島 久 著



ムーミン谷の十一月
トベ・ヤンソン 著



キダマッチ先生!
息子ナマズになる
今井 蒸子 作



ちいさな日本刺繍
浅賀 奈緒子 著

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。

<https://horonlibrary.blogspot.com/>



かみしほろ としよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎ 2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)

◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月30日~1月5日)

読書週間特別企画

「上士幌図書館POPコンテスト」終了

町内の小・中学生を対象に、10月1日から2週間、POP(子どもたちが自ら選んだ図書のPR文や絵などを書いて、その図書の魅力を発信するカード)を募集し、コンテスト形式で実施しました。期間中、小学生15名、中学生5名から個性あふれる作品が寄せられました。

POPコンテスト大賞以下、各賞を受賞したみなさんは、次のとおりです。

小学生部門

- 大賞…山口永愛さん(3年生)
- 山根先生賞…長良優希さん(5年生)
- 図書館職員賞…池上悠人さん(2年生)・鈴江菜都さん(3年生)
- 読んでみたいで賞…山口冬真さん(6年生)
- おもしろいで賞…村田大翼さん(2年生)
- すばらしいデザインで賞…宇佐美暁丸さん(3年生)

中学生部門

- 大賞…吉田伊織さん(3年生)
- 松岡先生賞…松田千尋さん(1年生)
- 図書館職員賞…大塚絆さん(3年生)
- 読んでみたいで賞…田中優樹さん(3年生)
- おもしろいで賞…中村知捺さん(1年生)
- すばらしいデザインで賞…他部門受賞のため該当者なし

図書消毒機を導入しました

新型コロナウイルス感染対策のため、図書消毒機を11月5日に導入しました。これまでも返却された本などをアルコールで消毒していましたが、紫外線を活用した消毒機の導入で、より効果的な本の殺菌が期待できます。利用者の皆さんには、さらに安心してご利用いただけるように、今後も努めて参ります。

ようこそおはなしの世界へ

★お話し会

- ◆日時 12月12日(日) 10:30~
- ◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール
- ◆定員 15名
- ◆注意点 マスクの着用をお願いします



★えほんのトビラ

- ◆日時 12月19日(日) 14:00~
- ◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール
- ◆定員 15名
- ◆注意点 マスクの着用をお願いします

おすすめの1冊

未来に生きる君たちへ
心に太陽を 唇に歌を
藤原正彦 著



昭和28年4月、ガキ大将・正彦のクラス4年3組に、転校してきた秀治。ひどく貧しく複雑な家庭環境で育った秀治は、新卒で赴任した担任の福田先生も、頭を抱えるほどの少年でした。授業中に奇声を発したり、歩き回ったり、他の生徒をからかったり。落ち着きがないから、国語や算数もよくできない。クラスの秩序を保たなければならないボス正彦は、女の子を泣かすなどの目に余る秀治の行動に、胸ぐらをつかんで怒鳴るも、秀治が正彦の手に噛みつこうとしたので、ゲンコツで秀治の頭を殴りつけたということもありました。

一方、山本有三の「心に太陽を持って、唇に歌を持って」をクラスで繰り返し教えていた福田先生は、秀治のあらゆる授業妨害に声を荒げることはありませんでした。その徹底した非暴力を貫く態度は、正彦やほかの生徒、保護者たちまでもが、秀治に甘いと評するほどでした。

その頃、愛読書『クオレ』を読み、卑怯を憎む心や弱者への思いやりを吸収し、また父から武士道精神を教えられていた正彦は、先生が自分たちに向けている心を理解するようになり、さらに成長していきます。